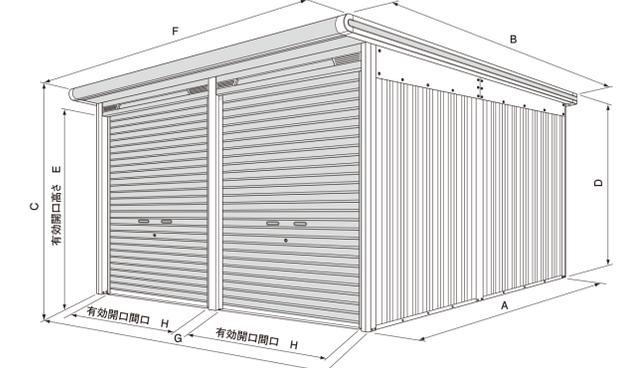


ヨドガレージ ラヴィージュ III (豪雪地型)組立説明書

VGCU-2652 (H) VGCU-2655 (H) VGCU-2659 (H) VGCU-2662 (H)
 VGCU-3052 (H) VGCU-3055 (H) VGCU-3059 (H) VGCU-3062 (H)
 VGCU-3352 (H) VGCU-3355 (H) VGCU-3359 (H) VGCU-3362 (H)

この組立説明書は、ガレージを安全に組立てていただくために、重要な事項を記載しています。施工前に必ずお読みください。また、部品箱の中の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。本文は、2連棟タイプを基準にしていますが単棟タイプ、3連棟以上手順は同様です。



機種名	奥行(mm)		高さ()内はHタイプ(mm)		巾(mm)			
	A	B	C	D	E	F	G	H
VGCU-1952	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-1955	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-1959	5,921	6,251	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)		1,866.5xH+165	1,866.5xH+85	1,678.5
VGCU-1962	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGCU-2652	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-2655	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-2659	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)		2,567.5xH+165	2,567.5xH+85	2,379.5
VGCU-2662	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGCU-3052	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-3055	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-3059	5,921	6,251	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)		2,918xH+165	2,918xH+85	2,730
VGCU-3062	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGCU-3352	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-3355	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-3359	5,921	6,251	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)		3,268.5xH+165	3,268.5xH+85	3,080.5
VGCU-3362	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				

n:連棟数

設置場所の制限

- 注意** 大屋根からの雨水や、雪が直接ドトガレージの屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 注意** 崖のふち、風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 注意** 給湯器の前には設置しないでください。

施工全般

- 注意** 施工の際には、次の点を必ず守ってください。
- 組み立ては専門業者に依頼ください。
- ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 施工前に必ず布基礎の水平を確認してください。水平がでない場合、ガレージの建付けが悪くなります。
- 強風時や雨天時の組立ではおやめください。
- 高所での組立となりますので、足場板、安全帯などを使用して、作業時の安全には、十分注意してください。
- 重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
- 安全のため、手袋をして組立てを行ってください。
- ボルトは口に入れないでください。

屋根の施工

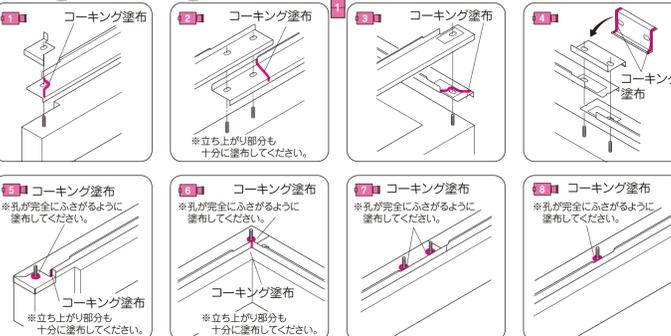
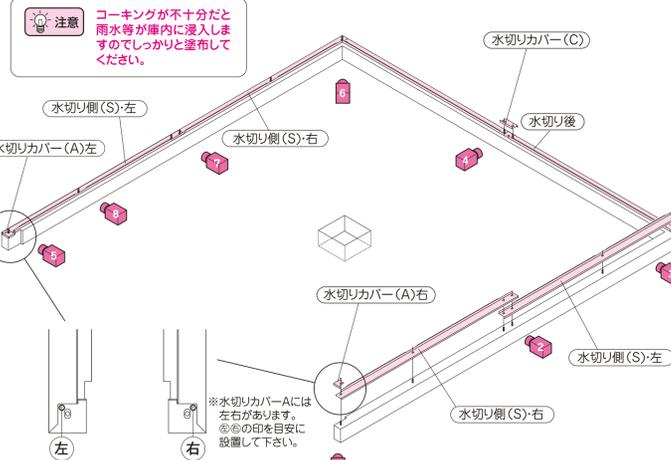
- 注意** 屋根の上がる場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
- 注意** 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。

- 組立てに必要な特殊工具：口幅14mmビット(屋根固定用)・口幅21mmビット(アンカーボルト固定用)
- 使用ビス一覧：3番手プラスビット(フレーム固定用)・ベンチ(シャッターカシメ用)



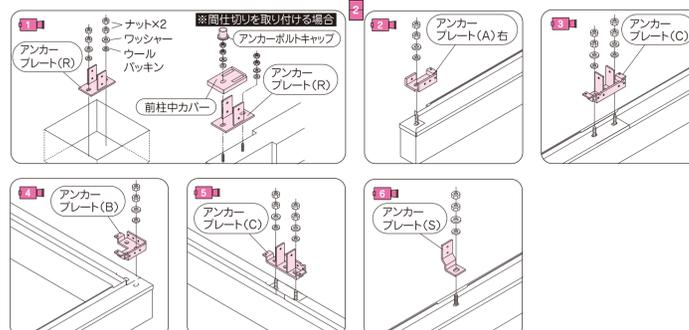
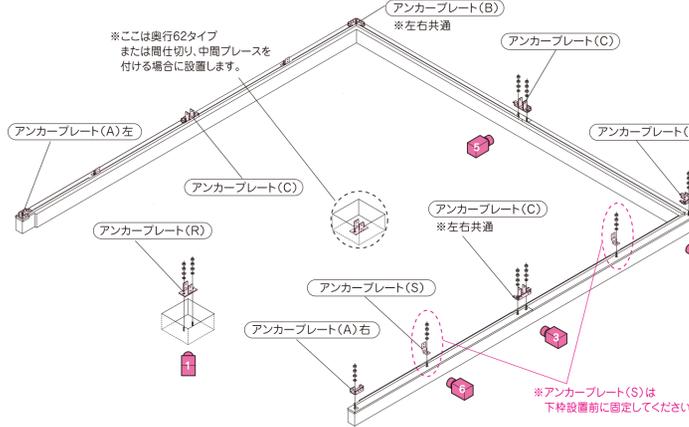
1 水切りの設置

- 水切りを基礎に設置します。(水切り後・水切り側)にはシールが貼ってありますので必要な孔部を切ってください。
- 水切りの重ね部、アンカーボルト周辺にコーキングを施します。



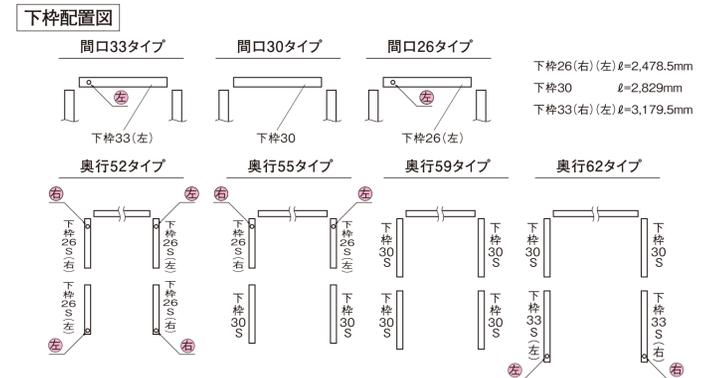
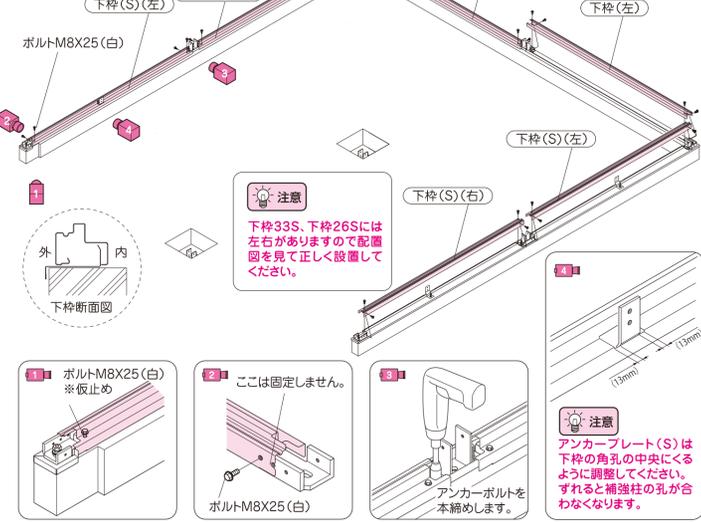
2 アンカープレートの取付け

- アンカープレート(アンカープレート)をアンカーボルトに仮止めします。※本締めは下枠設置後に行います。※奥行き62タイプの梁補助柱用の(アンカープレート(R))は梁補助柱梱包に入っています。
- オプション間仕切りを取り付ける場合は(前柱中カバー)をアンカープレート(R)に設置して固定し、アンカーボルトキャップを被せます。



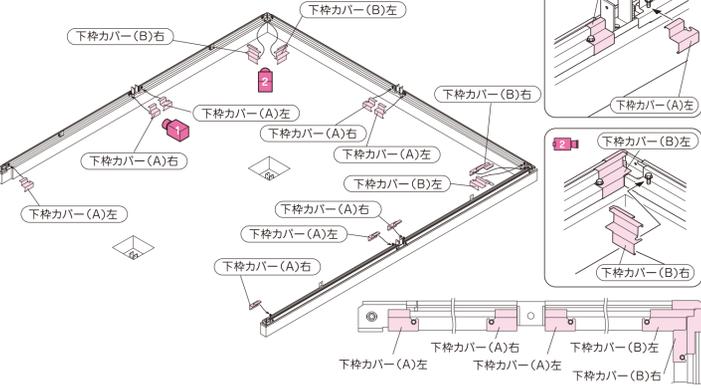
3 下枠の取付け

- 下枠(S)を下側の配置図に従って配置しアンカープレートに固定します。下枠上部のボルトは仮止めします。
- アンカーボルトを本締めします。



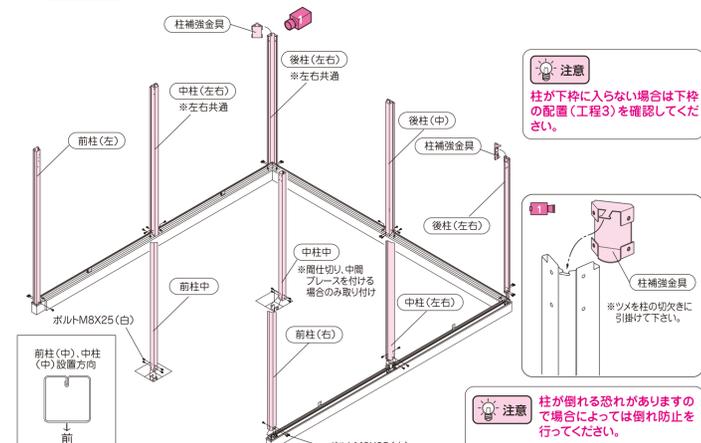
4 下枠カバーの取付け

- 下枠カバーを下枠に取り付けます。
- 仮止めたボルトを締め付けて固定します。



5 柱の取付け

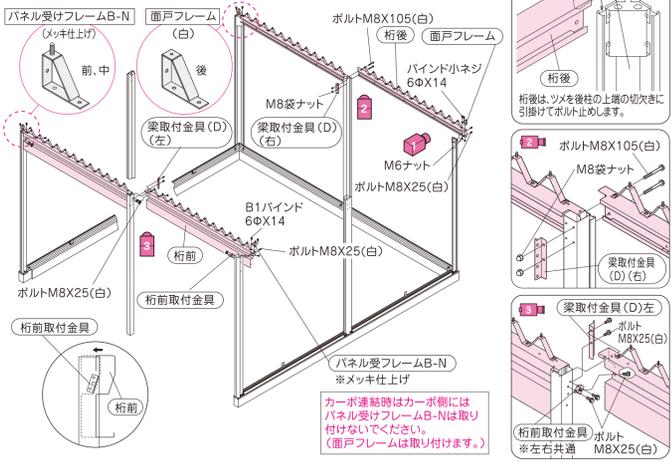
- 柱をアンカープレートに取り付けます。
- 柱補強金具を後柱(左右)に取り付けます。



6 桁の取付け

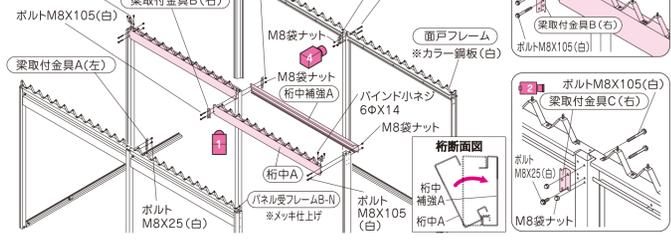
注「目隠し」を取り付ける場合、桁前は専用部品になります。「後面シャッター」を取り付ける場合、桁後は専用部品になります。

- 桁前取付金具を柱前に取り付けます。(金具に左右はありません)
- パネル受けフレーム(B-N)を桁前(後面シャッター)を桁後の両端に取り付けます。
- 桁前(桁後)を柱に取り付けます。
- ※連棟の場合、梁取付金具(D)を前柱中、後柱中に桁と同時に取り付けます。



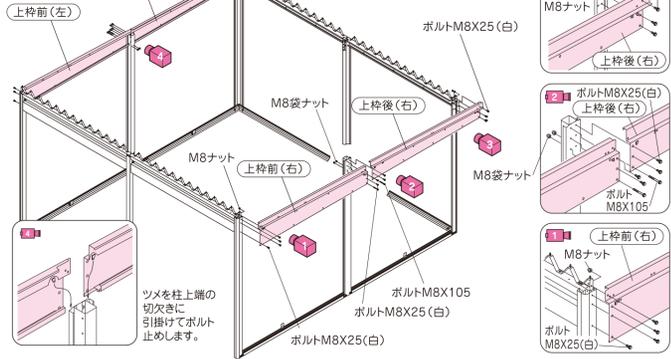
7 桁中の取り付け(単棟・間仕切り・中間ブレース付きの場合)

- パネル受けフレーム(B-N)を桁中の両端に取り付けます。
- 桁中補強Aを先に中柱に載せ(桁中A)をかかせるようにして取り付けます。
- 連棟の場合、梁取付金具(A)(B)(C)を桁前、桁中、桁後にそれぞれ同時に取り付けます。パネル受けフレーム(B-N)※メッキ仕上げ



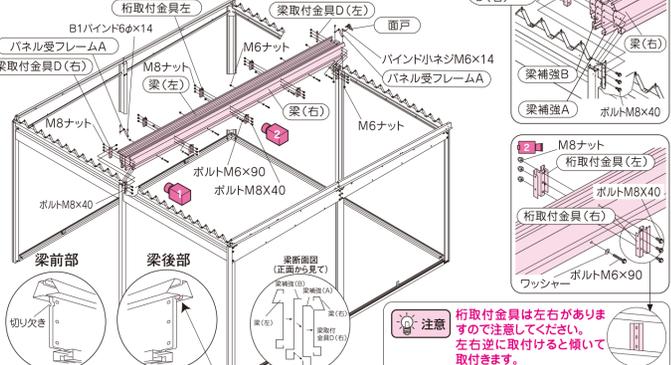
8 上枠の取付け

- 上枠前と上枠後を柱に取り付けます。※上枠上部には部材共通化のため、使用しない孔が空いています。相手の無い孔はボルト固定不要です。



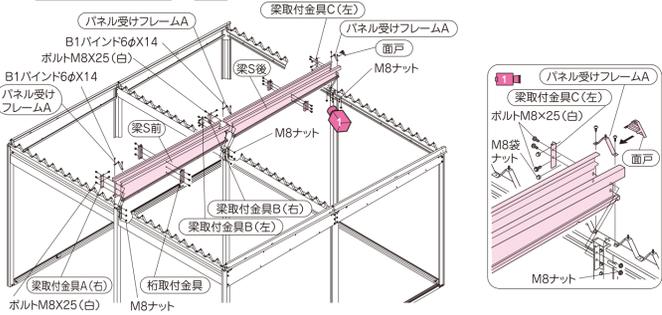
9-1 梁の取付け(1本梁の場合)

- 梁取付金具(D)が正面から右側のみ取り付けられていることを確認します。
- 梁(右)→梁補強(A)→梁補強(B)→梁(左)の順番で柱に載せます。
- 梁取付金具(D)を柱に取り付けて梁と固定します。
- 桁取付金具(左)を梁に取り付けます。
- パネル受けフレームA(後面シャッター)を桁前・後の連結部に取り付けます。



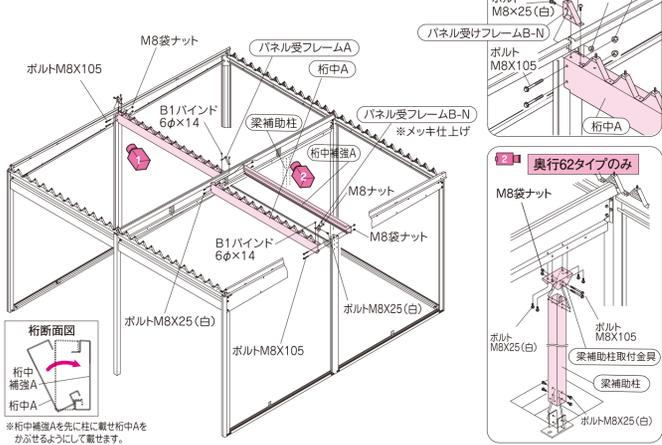
9-2 梁の取付け (間仕切り・中間ブレース取付ける場合)

- ① 梁S前(右)・(梁S後(左))を前・中・後柱中に取り付けます。
- ② 桁取付金具前(後)をそれぞれ梁S前・後の中央部に取り付けます。
- ③ パネル受けフレームA・(面戸)を桁前・桁中・桁後の連結部分に取り付けます。



10 桁中・梁補助柱の取付け (1本梁の場合)

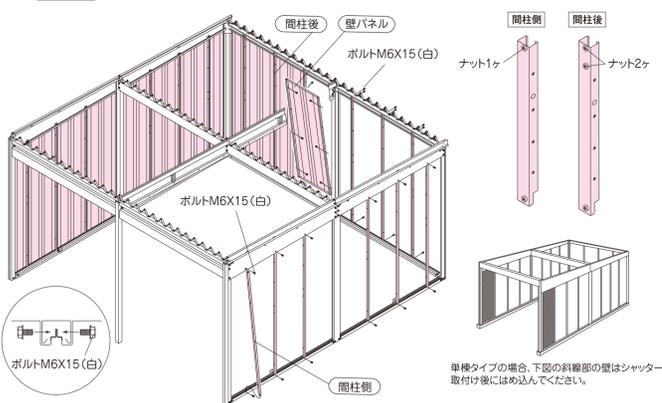
- ① 桁中補強・(桁中A)を柱・梁に取り付けます。
- ② パネル受けフレームA(B-N)をそれぞれ桁の連結部、端部に取り付けます。
- ③ ※奥行き62タイプのみ(梁補助柱)を梁の下に取り付けます。



11 間柱・壁パネルの取付け

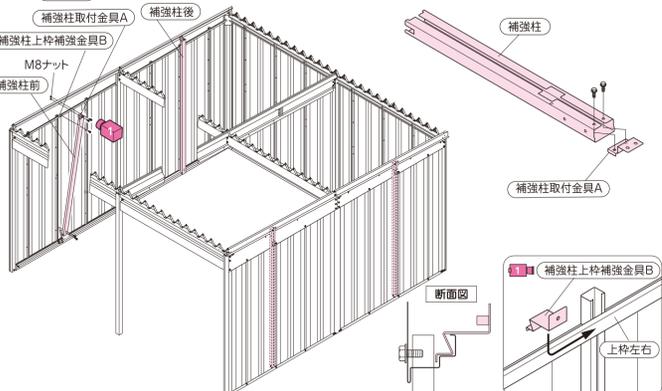
注)「引戸」「補助ドア」「サッシ窓」のある場合は壁パネルの取付けと同時に行ってください。

- ① 間柱側を側面の下枠、上枠左右に取り付けます。
- ② 間柱後を後面の下枠、桁後に取り付けます。
- ③ 壁パネルを室内からはめ込み柱、間柱に取り付けます。



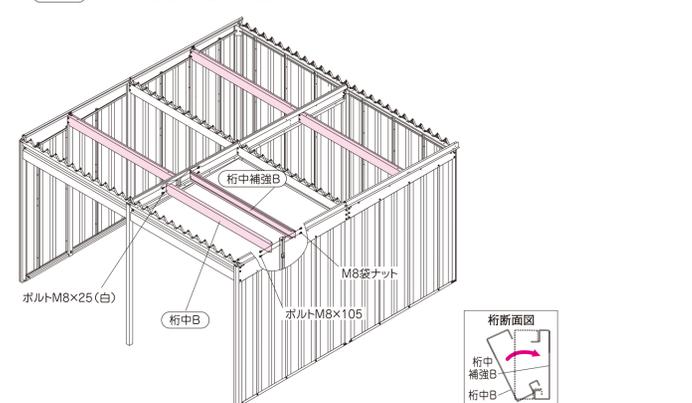
12 補強柱の取付け

- ① 補強柱取付金具Aを(補強柱前・後)に取り付けます。
- ② 補強柱上枠補強金具B)を間柱の横からスライドさせて上枠に設置します。
- ③ 補強柱)の上下を固定します。



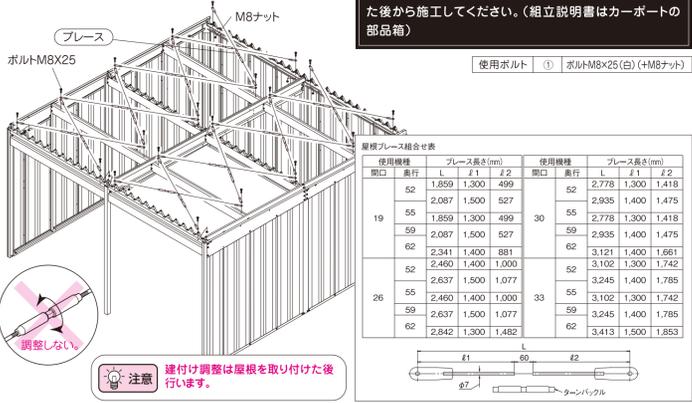
13 補強桁の取付け

- ① 桁中補強B)を補強柱、補強桁取付金具に取り付けます。
- ② (桁中B)を桁中補強B)にかぶせるようにして取り付けます。



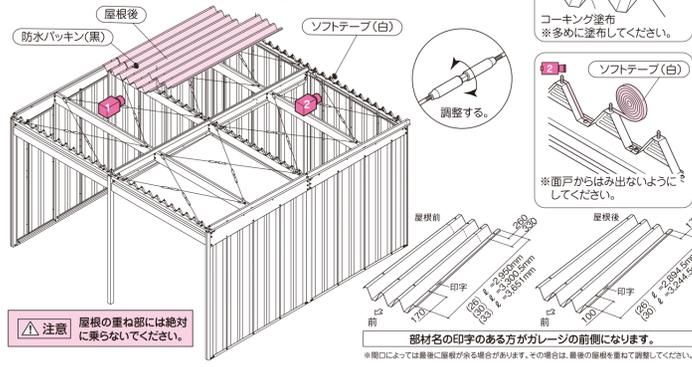
14 ブレースの取付け

- ① (ブレース)を桁に取り付けます。
- ※調整は屋根を載せた後に行います。(先に調整すると屋根が入らなくなる可能性があります。)



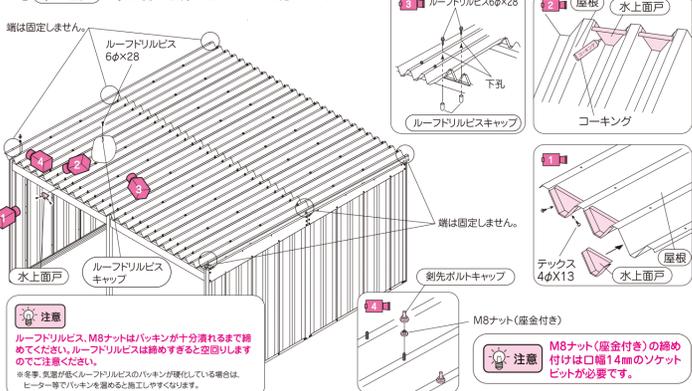
15 屋根の設置、建付け調整

- ① (ソフトテープ(白))を桁後のタイトフレームに沿って貼り付けます。
- ② 屋根後)を向かって左から載せていきます。
- ③ (防水パッキン(黒))を屋根後の前側に貼り付けコーキングを施します。
- ④ 屋根前)を向かって左から載せていきます。
- ⑤ ブレースのターンバックルを回して本体の建付け調整を行います。



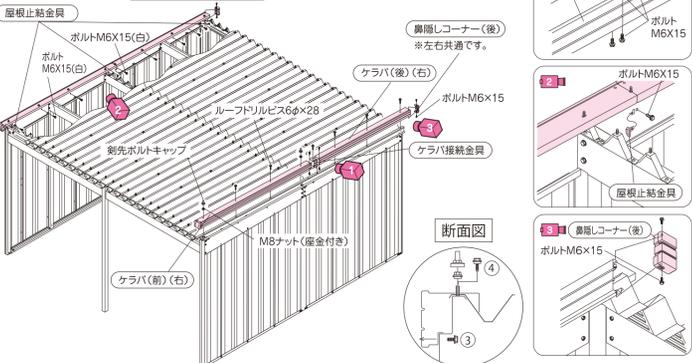
16 屋根の固定

- ① (屋根)の両端部を残し屋根をタイトフレームに固定し、(剣先ボルトキャップ)を嵌めます。
- ② (屋根)の流れ方向の重ね部を固定し(ルーフトリルビスキャップ)を屋根裏からかぶせます。
- ③ (水上面戸)を水上側に取付けコーキングを施します。



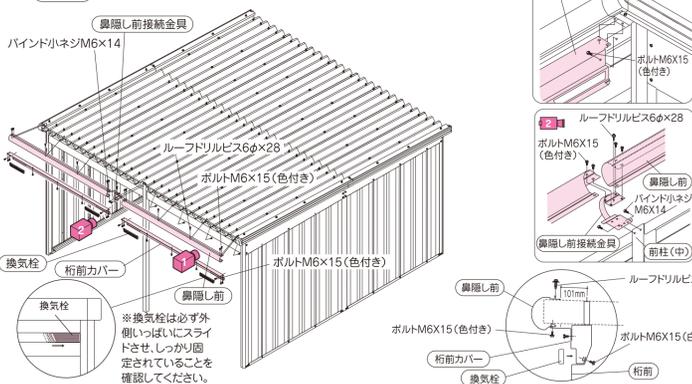
17 ケラバの取付け

- ① ケラバ接続金具)をケラバ前)に取り付けます。
- ② ケラバ前)・(ケラバ後)を上枠に取り付けます。
- ③ 庫内からケラバを固定します。(3ヶ所は(屋根止結金具)を用いてボルト固定します。)
- ④ ケラバ上面)を屋根に固定します。
- ⑤ ケラバの後端に(鼻隠しコーナー(後))を取り付けます。



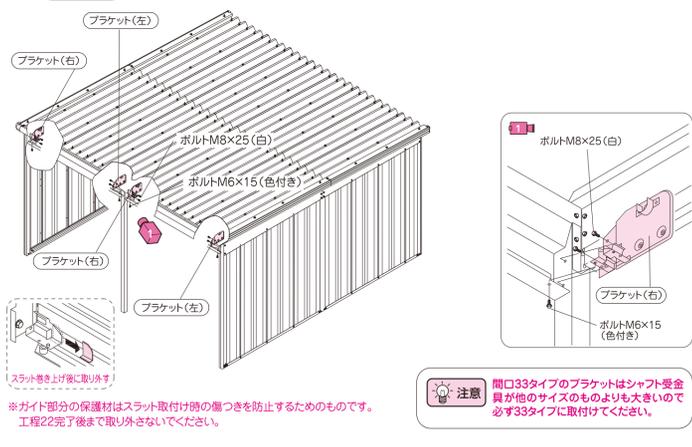
18 鼻隠し前の取付け

- ① ※連続の場合、(鼻隠し前接続金具)を前柱中)に取り付けます。
- ② (鼻隠し前)を屋根、ケラバコーナー樹脂)を取付けます。
- ③ 桁前カバー)を桁前、鼻隠し前)に取り付けます。
- ④ (換気栓)を桁前カバー)に取り付けます。



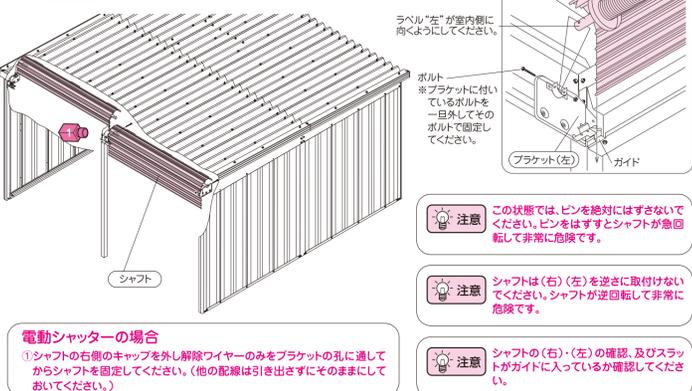
19 シャッターブラケットの取付け

- ① (ブラケット)を柱、桁前)に取り付けます。



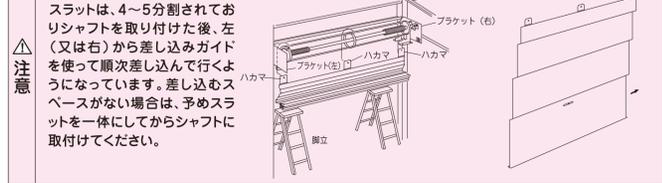
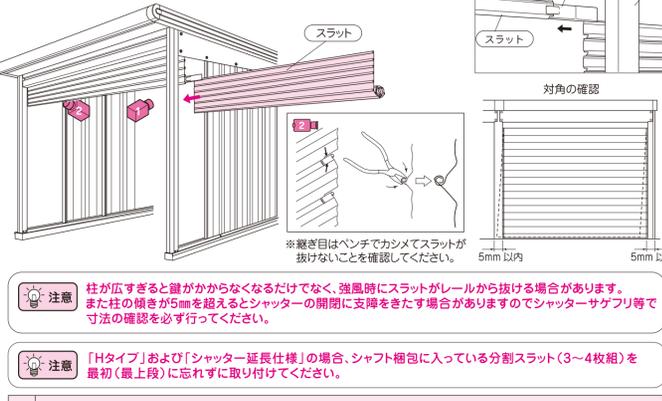
20 シャッターシャフトの取付け

- ① (シャフト)をブラケット)に取り付けます。(左右のラベルが室内側にして取付けてください。)
- ② (スラット)をブラケットのガイド)に適します。



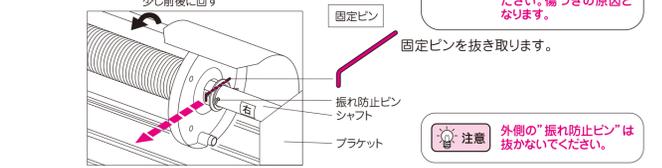
21 スラットの吊りこみ

- ① (スラット)を差し込みガイド)を使って順次差し込みます。
- ② 継ぎ目をカシメます。(両端カシメてください。)
- ③ 柱の建ちを確認します。



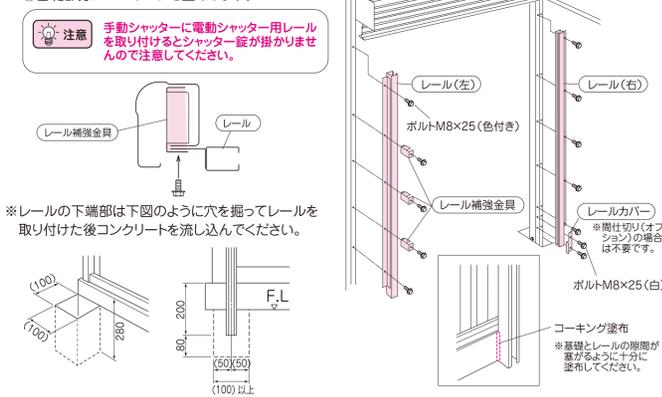
22 シャフト固定ピンの抜き取り

- ① シャフトの両端にある固定ピン)を抜き取ります。
- ② スラットを巻き上げます。
- ③ ガイド部分の保護材を横に引き抜いて取り外してください。



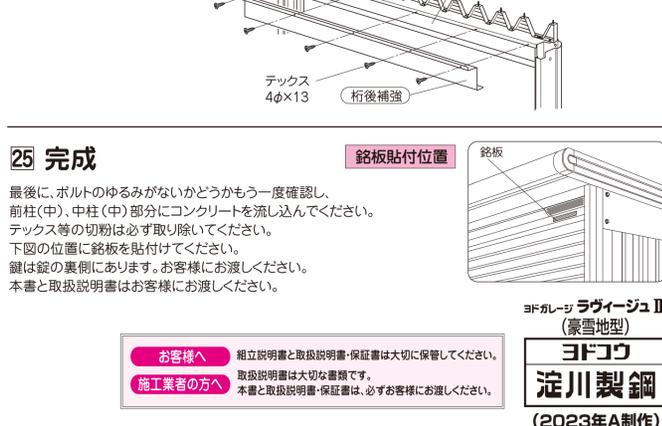
23 レールの取付け

- ① (レール)を前柱)に取り付けます。
- ② 両サイドの柱には、中央3ヶ所に(レール補強金具)を取付けます。
- ③ 連結部は下部に(レールカバー)を取付けます。
- ④ 基礎部分にコーキングを塗布します。



24 桁後補強の取付け

- ① (桁後補強)を桁後に取付けます。



25 完成

最後に、ボルトのゆるみがないかどうかもう一度確認し、前柱(中)・中柱(中)部分にコンクリートを流し込んでください。テックス等の切粉は必ず取り除いてください。下図の位置に銘板を貼付けてください。鍵は錠の裏側にあります。お客様にお渡しくたさい。本書と取扱説明書はお客様にお渡しくたさい。

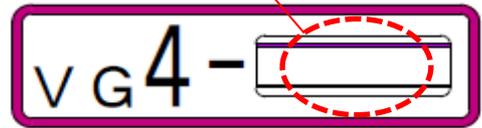
お客様へ 組立説明書と取扱説明書・保証書は大切に保管してください。
 施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しくたさい。

ヨドガレージ ラヴィージュ III

シャッター仕様変更に伴う補足説明

シャッター仕様がA、Bの2種類ありますので、シャッター梱包の色名番号によって施工内容を以下の通り替えてください。

色名記載箇所



A. シャッター梱包の色名記号が次の場合

正面シャッター・・・MG、SM、DW	(例) VG4-1231 SM (電動の場合 VG4-1231 SMR)
側面、後面シャッター・・・無記載	(例) VG4-7121 (電動の場合 VG4-7121R)

梱包番号、組立てについては組立説明書の通りとなります。

電動シャッターの場合、電気工事はシャッターメーカーで行いますので、組立説明書およびシャフト梱包に付属の補足説明書に従い、ケーブル類の取り出しのみ行ってください。

B. シャッター梱包の色名記号が次の場合

正面シャッター・・・LG、RB、LW	(例) VG4-1231 RB (電動の場合 VG4-1231 RBR)
側面、後面シャッター・・・CB	(例) VG4-7121 CB (電動の場合 VG4-7121 CBR)

組立方法、梱包内容表が組立説明書と異なりますので以下をご確認ください。

電動シャッターの場合、電源プラグの接続、動作確認、リミット調整まで完了させてください。

※母屋～コンセントまでの電気工事は有資格者が行って下さい。

※電動シャッターの取付要領書がシャフト梱包に付属しておりますのでご確認ください。

組立説明書については、以下の通り読み替えを行ってください。

工程 19

ガイド部分に保護材は付属していませんので、そのまま取付けを行ってください。

工程 20

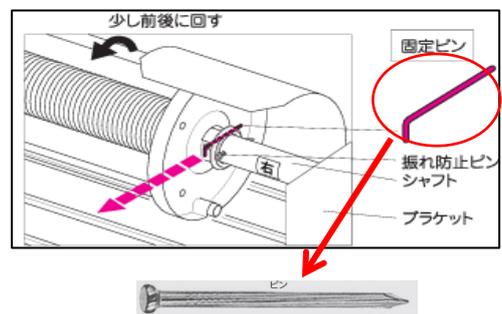
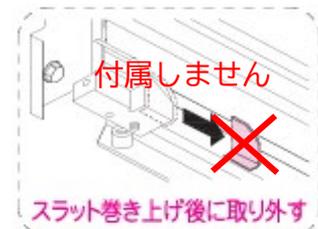
電動シャッターの場合はシャフト梱包に付属の取付要領書に従い配線を行ってください。

工程 22

固定ピン形状がL形状ではなく、クギ形状になります。

工程 24

電動シャッターの場合はシャフト梱包に付属の取付要領書に従い、リミット調整まで行ったあとお客様に引き渡しを行ってください。



梱包内容表については、シャッター関連梱包の色名が変更となっておりますので読み替えてください。

SM (スミ)	⇒ RB (リッチブラック)
MG (メタリックグレー)	⇒ LG (ラグジュアリーグレー)
DW (ダークウッド)	⇒ LW (ラグジュリアスウッド)
無記載	⇒ CB (カシミアベージュ)

※スラット、シャフト梱包以外は変更ありません

※オーバースライディングドアは変更ありません